

## 愛知中小企業家同友会景況調査報告

— 1995年11月 —

## 景気低迷下での一進一退つづく

## 【概況】

今年春以降の急速な円高によって腰折れ状態に陥った景況感は、今回調査では8月以降の円高修正をうけて若干ながら好転した。前年同月比で見た業況判断DIは全業種で前回調査より「低下」超過幅を6ポイント縮小して△20になった。同様に売上高DIも2→5に、また経常利益DIも△4→1へとそれぞれプラスの方向に3ポイント、5ポイント改善された。これは「設備過不足」DI（「不足」が「過剰」を5ポイント超過した）や雇用動向DI（「不足」が「過剰」を3ポイント超過した）にも現れている。

では、円相場が比較的安定して推移するとすればこのまま一路回復に向けて進行していくであろうか。上記の「設備過不足」DIや「雇用動向」DIから、一層のコスト削減による利益の確保は困難になってきているといえる。残るは需給要因であるが、価格変動および取引状況DIを見ると、前年同月と比べた価格変動DI値は今年2月の△47から調査の回を追うごとに少しずつではあるが「低下」が「上昇」を上回り、今回調査では△52となり、次期見通しでも前回のそれより「低下」超過幅を広げ、調査開始以来最大の「低下」超過（△44）を予測している。また取引状況にあってもほぼ同様の傾向を示している。これらの状況は経常利益、売上高の次期見通しのDIに反映され、いずれも前回より悪化の見通しとなっており、業況判断でも次期見通しは前回のそれより1ポイントの改善（△17→△16）にとどまっている。今回調査から見限り、少なくとも今年度いっぱいには停滞のなかでの一進一退という昨年5月以来の状況が続き、厳しい経営環境からの脱出は困難であるといえる。

## 【調査要項】

- ①調査時 1995年11月30日～12月5日
- ②対象企業 愛知中小企業家同友会、会員企業
- ③調査方法 調査書をFAXで発送、自記入、FAXで回収
- ④回答企業 638社より、170社の回答をえた（回収率26.6%）  
（建設業36社、製造業62社、流通・商業30社、サービス業42社）
- ⑤平均従業員 33.3人

なお、本報告は愛知中小企業家同友会情報センター（委員長、村上秀樹・村上電気工業㈱社長）が実施した調査結果をもとに、景況分析会議（座長、山口義行立教大学助教授）での検討を経てなされたものである。

## 【経営上の力点など】

経営上の問題点は「販売先からの値下げ要請」の比重がさらに増す

「経営上の問題点」の順位は前々回、前回と同じで、第1位「民間需要の停滞」（43%）、第2位「販売先からの値下げ要請」（42%）、第3位「人件費の増加」（23%）であった。「民間需要の停滞」および「人件費の増加」の割合は、調査開始以来その比重を低下させているが、「販売先からの値下げ要請」はほぼ変わらず推移しており、価格変動DIおよび取引条件DI現れているように、価格低下圧力の増大はその深刻さを増しているといえることができるであろう。経営上の力点の順位も前回調査と変化はなく、第1位「新規受注（顧客）の確保」（62%）、第2位「付加価値の増大」（42%）、第3位「社員教育」（34%）であった。

長期にわたる景気低迷のもとでは経営力格差が顕著になってくる。厳しい足下の状況とそれを乗り越える中小企業のメリットを生かした経営への取り組みとについて、会員経営者は次のように語っている。

## 会員の声

## 建築関連、金物製造（K氏）

かつては自動車部品製造業でサラリーマン生活をおくったが、今では同友会会員の異業種交流・情報交換等でコツコツと新しい分野を手がけている。

商品陳列ケースや衛生陶器の附属金具の製造をしているが、夏頃に景気が落ち込んだ時期に円高の同時進行もあって量産部品まで東南アジアに進出してしまった。その製品が最近輸入されてきている感じで、価格競争がきつくなってきている。

現在のような変化の中では、若い人の新しいセンスで取り組まないと行けなくなる。部品製造業は多品種少量に力を入れるべきと、経営改善に取り組んでいる。

## 建設関連（M氏）

業界は10月発注、3月竣工というパターンが多い。今回調査の業況判断で2月への予測が、今年のDI値が16であったのに対し、来年2月予測のDI値が△22とかなり厳しい見通しになっている。それは今年の期待が裏切られたことに影響しているのだろう。

緊急経済対策などの施策も講じられた様だが、14兆円はいったいどこに使われたのだろう。特に国の特別対策が実施される場合はインフラ整備の土木事業につき込まれるケースが多く、大手のゼネコンには仕事や金がまわっても中小企業や国民生活への影響は少ないと思われる。

不動産をめぐる不安も、地価は2000年頃まで下がり続けるだろうと言われていましたし、今日のようなローン社会で経営者団体が「来春の賃上げはないよ」と発表されると、消費者の手は出ません。新築工事を見てもマンションばかりで、事務所や工場の新築は無くなっています。

## 愛知中小企業家同友会景況調査報告 No.8

1995年12月25日発行

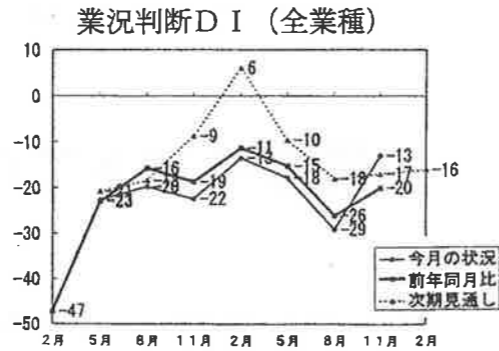
編集・発行 愛知中小企業家同友会・情報センター  
景況調査研究会

〒460 名古屋市中区錦三丁目5-18京枝屋ビル4階  
電話 052(971)2671(代) ファクシミリ 052(971)5406

**〔業況判断〕**

**若干好転したが、次期見通しは足踏み状態**

今年2月をピークとして5月、8月と「悪化」超過幅を拡大してきた前年同月に比しての業況判断D I（昨年11月と比べ業況が「好転」したと答えた企業の割合から「悪化」したと答えた企業の割合を引いたもの）は、今回調査で若干持ち直し、前回調査のそれより6ポイントの改善の△20となった。業種別に前回調査からのその推移を見ると、建設業および流通業では「低下」超過幅が拡大し、それぞれ△9→△20、5→△13と悪化したが、それに対して製造業とサービス業では「低下」超過幅が縮小し、それぞれ△40→△20、△39→△23へと好転した。こうした業種別相違は、円の水準に影響を受ける度合いによって生じたと見ることができよう。前回調査で見られた業種間の大きな格差は今回調査では解消されている。

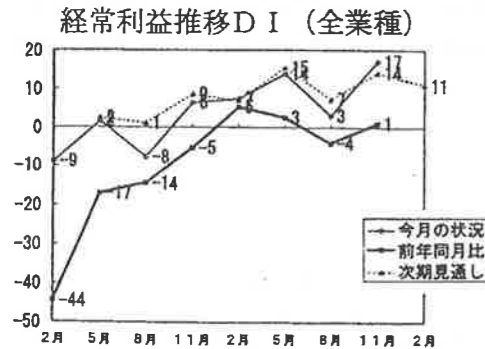


業況の絶対水準を尋ねる今月の状況D I（「よい」「さよどよくない」「悪い」のうち、「よい」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いたもの）は全業種で△13となり、今年2月のピーク時点のD I値まで回復した。前回調査からの推移で見ると、建設業をのぞく3業種で「悪い」と答えた企業の割合を減少させている。しかし、急速な円高という悪条件は取り除かれたものの、大企業でのリストラの継続とそれによる個人消費の停滞、ますます増加する製品輸入、そして欧米諸国の景気後退に伴うアジア市場での競争の激化など先行きの懸念材料が山積している。このような中小企業をとりまく厳しい状況が、今月の状況D Iの好転にもかかわらず、業況判断の次期見通しを僅か1ポイントの改善にとどまらせた大きな要因であるといえよう。

**〔売上高〕〔経常利益〕**

**売上、経常利益とも「好転」が増加、ただし次期予測は僅かながら悪化傾向**

売上高D I（前年の11月と比べて、売上が「増加」したと答えた企業の割合から「減少」したと答えた企業の割合を引いたもの）は全業種で前回調査より3ポイント増加し、



2→5となった。しかし、次期（来年2月）見通しは前回調査のそれより2ポイント悪化し、△1となっている。経常利益の推移D Iも同様の動きを示している。前年同月に比べて経常利益が「好転した」と答えた企業の割合は前回調査とほぼ同じであったが、「悪化」したと答えた企業の割合が減少して、その結果△4→1へと5ポイント改善した。また、今月の状況でも、「黒字」と答えた企業の割合の増加、そして「赤字」と答えた企業の割合の減少によって、昨年2月の調査以来最高の17となり、前回調査より14ポイントも好転した。しかし、次期見通しでは、「赤字」になると答えた企業の割合は減少しているものの、「黒字」となると答えた企業の割合も減少し、前回調査より3ポイント悪化させている。なお、次期見通しでは、流通業で「黒字」になると答えた企業の割合を大幅に減少（50%→31%）させているのが際だっている。

**〔在庫〕**

**過剰感薄れ、「適正」が再び8割に達する**

5月、8月の前々回、前回調査では徐々に過剰感が強まっていたが、今回調査の在庫感D I（「過剰」「適正」「不足」のうち、「過剰」と答えた企業の割合から「不足」と答えた企業の割合を引いたもの）は13となり、前回調査より5ポイント改善された。「適正」と答えた企業の割合は80.7%に達し、今年2月の水準まで回復した。前年同月に比べた在庫感D I（「増加」－「減少」）も全業種では4→2となったが、流通業（0→△13）と製造業（6→12）では相反する動きとなっている。

**〔価格変動〕〔取引条件〕**

**増加する価格低下圧力**

今年2月に、それまで50台後半で推移していた価格変動D I（「上昇」－「低下」）の「低下」超過幅は、いったん40台まで縮小したがその後再び拡大に転じ、今回調査では△52となった。前回調査より「低下」超過幅を縮小しているのはサービス業（△55→△31）だけで、建設業では△54→△69に、製造業では△47→△54に、そして流通業でも△42→△57とその「低下」超過幅を拡大させている。次期見通しでも前回調査より「低下」超過幅を広げ、△35→△44となった。個人消費の低迷、製品輸入の増加、産業空洞化の進展など構造的要因に基づく価格破壊の深刻さが窺える。

取引条件D Iは全業種で△21と前回調査と同じであったが、次期見通しでは「好転」と答えた企業の割合が減少して前回調査の△18から△20へと2ポイントであるが「低下」超過幅が拡大している。

**〔資金繰り〕**

**「順調」が6割近くになる**

資金繰りD I（「余裕」「順調」「窮屈」のうち「余裕」と答えた企業の割合から「窮屈」と答えた企業の割合を引いたもの）は徐々に改善され、今回調査では「窮屈」が減少して調査開始以来はじめての30%台になり、「順調」が増大して58.8%と約6割に達した。しかし、次期見通しでは「窮屈」になると答えた企業の割合は4割を占めており、D Iは「低下」超過幅を1ポイント広げて△35→△36となっている。

**〔施設稼働率〕〔設備過不足〕**

**施設稼働率「低下」企業割合が減少、設備「適正」企業割合が7割台に回復**

前年11月に比べて施設稼働率が「低下」したと答えた企業の割合は製造業および流通業ともに減少し、施設稼働率D Iは全業種で前回調査より6ポイント上昇の△8→△2となった。また、設備過不足では「過剰」「不足」とともに減少して「適正」が7割を超え、そのD Iを△5（「不足」超過）とした。

**〔雇用〕**

**僅かながら「不足」幅が拡大、ただし依然として大きい業種間格差**

全業種雇用動向D I（「過剰」－「不足」）は△3となり前回調査より2ポイント「不足」超過になった。建設業、サービス業で「不足」超過となり、製造業は7ポイントの「過剰」超過、流通業では「過剰」「不足」とも同一の割合であった。前回調査で「不足」超過が際だっていた建設業では、今回は「不足」と答えた企業の割合も増加（25.8%→30.3%）したが、他方「過剰」と答えた企業が13.3%増え、その結果△26→△17へと「不足」超過幅を縮小させた。なお、次期見通しは全業種では今回調査の今月の状況と同じ△3となっているが、建設業では「過剰」の増加による「不足」幅の減少が予想されている。

# 【資料】DI値推移一覽

No. 1

## <今月の状況>

### 経常利益DI

|           | 94年 |    |    |     | 95年 |    |    |     |
|-----------|-----|----|----|-----|-----|----|----|-----|
|           | 2月  | 5月 | 8月 | 11月 | 2月  | 5月 | 8月 | 11月 |
| 「黒字」-「赤字」 |     |    |    |     |     |    |    |     |
| 全業種       | -9  | 2  | -8 | 8   | 7   | 14 | 3  | 17  |

### 在庫感DI

|     | 2月        | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 | 5月 | 8月 | 11月 |
|-----|-----------|----|----|-----|----|----|----|-----|
|     | 「過剰」-「不足」 |    |    |     |    |    |    |     |
| 全業種 | 19        | 25 | 15 | 15  | 8  | 18 | 18 | 13  |

### 資金繰りDI

|     | 2月        | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  | 5月  | 8月  | 11月 |
|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 「余裕」-「窮乏」 |     |     |     |     |     |     |     |
| 全業種 | -43       | -33 | -39 | -41 | -38 | -34 | -34 | -28 |

### 設備過不足DI

|     | 2月        | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 | 5月 | 8月 | 11月 |
|-----|-----------|----|----|-----|----|----|----|-----|
|     | 「過剰」-「不足」 |    |    |     |    |    |    |     |
| 全業種 | 10        | 7  | 3  | 5   | -4 | -2 | -1 | -5  |

### 雇用動向DI

|     | 2月        | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 | 5月 | 8月 | 11月 |
|-----|-----------|----|----|-----|----|----|----|-----|
|     | 「過剰」-「不足」 |    |    |     |    |    |    |     |
| 全業種 | 11        | 7  | -2 | 1   | -8 | 2  | -1 | -3  |

### 業況判断DI

|       |  | 5月        | 8月  | 11月 | 2月  | 5月  | 8月  | 11月 |
|-------|--|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|       |  | 「良い」-「悪い」 |     |     |     |     |     |     |
| 全業種   |  | -23       | -20 | -22 | -13 | -18 | -29 | -13 |
| 建設業   |  | -9        | -29 | -36 | -30 | -12 | -12 | -30 |
| 製造業   |  | -33       | -23 | -17 | -8  | -29 | -40 | -14 |
| 流通業   |  | -30       | -13 | -18 | -7  | -25 | -7  | 0   |
| サービス業 |  | -11       | -12 | -24 | -17 | 0   | -44 | -8  |

## <前年同月比>

### 売上高DI

|           | 94年 |     |    |     | 95年 |    |    |     |
|-----------|-----|-----|----|-----|-----|----|----|-----|
|           | 2月  | 5月  | 8月 | 11月 | 2月  | 5月 | 8月 | 11月 |
| 「増加」-「減少」 |     |     |    |     |     |    |    |     |
| 全業種       | -35 | -10 | -4 | -3  | 11  | 10 | 2  | 5   |

### 経常利益DI

|     | 2月        | 5月  | 8月  | 11月 | 2月 | 5月 | 8月 | 11月 |
|-----|-----------|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|     | 「好転」-「悪化」 |     |     |     |    |    |    |     |
| 全業種 | -44       | -17 | -14 | -5  | 5  | 3  | -4 | 1   |

### 在庫感DI

|     | 2月        | 5月  | 8月 | 11月 | 2月 | 5月 | 8月 | 11月 |
|-----|-----------|-----|----|-----|----|----|----|-----|
|     | 「増加」-「減少」 |     |    |     |    |    |    |     |
| 全業種 | 14        | -10 | -7 | 6   | 8  | 5  | 4  | 2   |

### 価格変動DI

|     | 2月        | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  | 5月  | 8月  | 11月 |
|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 「上昇」-「低下」 |     |     |     |     |     |     |     |
| 全業種 | -61       | -59 | -53 | -56 | -47 | -48 | -49 | -52 |

### 取引条件DI

|     | 2月        | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  | 5月  | 8月  | 11月 |
|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 「好転」-「悪化」 |     |     |     |     |     |     |     |
| 全業種 | -26       | -21 | -22 | -24 | -29 | -19 | -21 | -21 |

### 施設稼働率DI

|     | 2月        | 5月  | 8月 | 11月 | 2月 | 5月  | 8月 | 11月 |
|-----|-----------|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
|     | 「上昇」-「低下」 |     |    |     |    |     |    |     |
| 全業種 | -40       | -20 | 6  | 2   | 4  | -16 | -8 | -2  |

### 業況判断DI

|       | 2月        | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  | 5月  | 8月  | 11月 |
|-------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|       | 「好転」-「悪化」 |     |     |     |     |     |     |     |
| 全業種   | -47       | -23 | -16 | -19 | -11 | -15 | -26 | -20 |
| 建設業   | -47       | -25 | -32 | -21 | -32 | -27 | -9  | -20 |
| 製造業   | -53       | -20 | -17 | -21 | -3  | -28 | -40 | -20 |
| 流通業   | -44       | -26 | -20 | -15 | 7   | 0   | 5   | -13 |
| サービス業 | -41       | -24 | 5   | -16 | -29 | 0   | -39 | -23 |

<ウラにつづく>

＜次期(3ヶ月先)  
見通し＞  
(表内はその月に対する予測)

売上高D I

| 「増加」-「減少」 | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 |
|-----------|----|----|-----|----|----|----|-----|----|
| 全業種       | -7 | -2 | 8   | 1  | 8  | -8 | 1   | -1 |

経常利益D I

| 「黒字」-「赤字」 | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 |
|-----------|----|----|-----|----|----|----|-----|----|
| 全業種       | 2  | 1  | 9   | 7  | 15 | 7  | 14  | 11 |

在庫感D I

| 「過剰」-「不足」 | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 |
|-----------|----|----|-----|----|----|----|-----|----|
| 全業種       | 10 | 15 | 8   | 8  | 10 | 11 | 13  | 9  |

価格変動D I

| 「上昇」-「低下」 | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全業種       | -40 | -41 | -41 | -42 | -36 | -42 | -35 | -44 |

取引条件D I

| 「好転」-「悪化」 | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全業種       | -18 | -19 | -19 | -20 | -24 | -17 | -18 | -20 |

資金繰りD I

| 「余裕」-「窮乏」 | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全業種       | -46 | -39 | -40 | -46 | -43 | -39 | -35 | -36 |

施設稼働率D I

| 「上昇」-「低下」 | 5月  | 8月  | 11月 | 2月 | 5月 | 8月  | 11月 | 2月 |
|-----------|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|----|
| 全業種       | -14 | -10 | 4   | -5 | 9  | -19 | -5  | 1  |

設備過不足D I

| 「過剰」-「不足」 | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 | 5月  | 8月 | 11月 | 2月 |
|-----------|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| 全業種       | 7  | 7  | 2   | -1 | -10 | -3 | -4  | -2 |

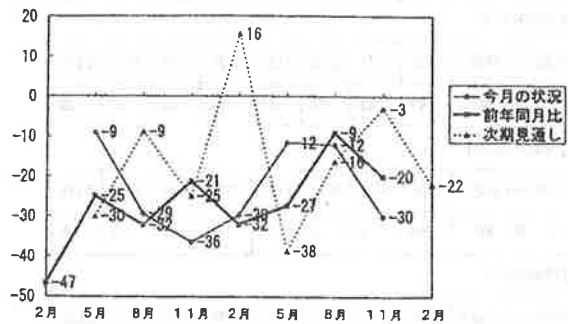
雇用動向D I

| 「過剰」-「不足」 | 5月 | 8月 | 11月 | 2月  | 5月 | 8月 | 11月 | 2月 |
|-----------|----|----|-----|-----|----|----|-----|----|
| 全業種       | 4  | 6  | -4  | -18 | -4 | 1  | -1  | -3 |

業況判断D I

| 「良い」-「悪い」 |  | 8月  | 11月 | 2月 | 5月  | 8月  | 11月 | 2月  |
|-----------|--|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 全業種       |  | -18 | -9  | 6  | -10 | -18 | -17 | -16 |
| 建設業       |  | -9  | -25 | 16 | -38 | -16 | -3  | -22 |
| 製造業       |  | -27 | -8  | -7 | -10 | -28 | -25 | -18 |
| 流通業       |  | -21 | -4  | 24 | 7   | -7  | 6   | -7  |
| サービス業     |  | -11 | 1   | 6  | 0   | -16 | -31 | -16 |

業況判断D I (建設業)



業況判断D I (製造業)

